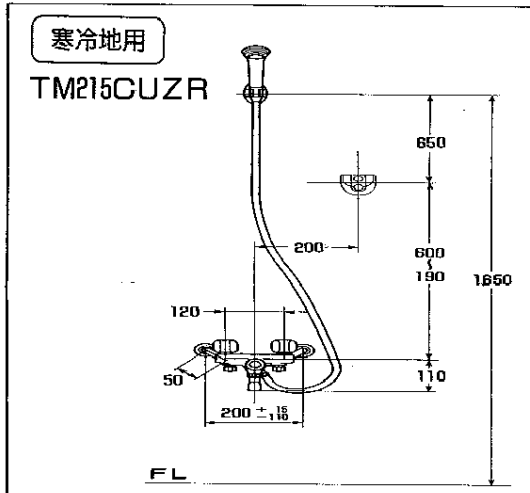
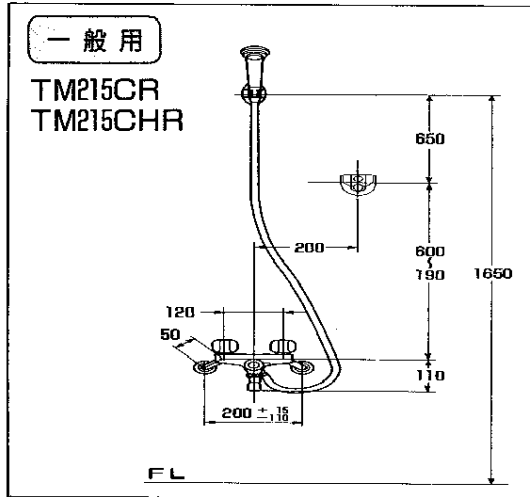


# “ジョイシリーズ”壁付きハンドシャワー式 シャワーバス水栓(切換え)13取付説明書

## 完成図



注) TOTO カスタムシリーズで、湯沸器の温度を60℃にした場合、表中の数値より0.02MPa(0.2kgf/cm<sup>2</sup>)多く必要になります。表中のAは湯沸器の最低作動水圧を示します。(比例制御タイプにはこの数値が含まれていません。)

### 〈設定条件〉

- 湯側ハンドルは全開
- 湯沸器温度調節は最高温度に設定
- 夏季水温：25℃      ● 冬季水温：5℃
- 吐水温度：42℃
- 給湯配管長さ：5℃

### a) 能力手動切替タイプの場合

- 湯沸器が着火する下限の圧力とする。
- 季節は水温の高い夏季とする。

水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。

### b) 比例制御タイプの場合

- 8ℓ/分の吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。
- 季節は水温の低い冬季とする。

(2)石油瞬間湯沸器及び貯湯式温水器と組み合わせる場合

給水・給湯圧力

最低必要圧力	0.05 MPa {0.5kgf/cm <sup>2</sup> }
最高圧力	0.74 MPa {7.5kgf/cm <sup>2</sup> }

(3)給水・給湯圧力はできるだけ内圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

なお給湯機からの給湯管は抵抗を小さくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

## 使用条件

### 1. 使用水圧

(1)ガス瞬間湯沸器と組み合わせる場合

給水圧力 { 最低必要水圧…(表参照)  
最高水圧……………0.74MPa(7.5kgf/cm<sup>2</sup>)  
器具入口部における最低必要水圧MPa(kgf/cm<sup>2</sup>)

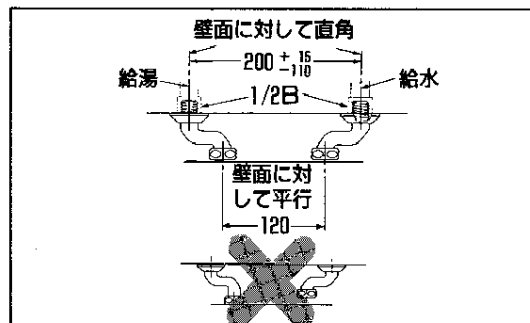
給湯機タイプと号数		最低必要水圧	
比 例 制 御 タ イ プ	能力手動切替タイプ	12号 A+0.13(1.3)	
	TOTO カスタム 制御方式	10号	0.09(0.9)
		16号	
		20号	
	TOTO カスタム 制御方式 (トリコン ・コンタクト ・アクティ)	16号	0.08(0.8)
		20号	
		24号	
		アクティ スーパーアクティ	
		32号	
	TOTOハイトリコン 制御方式	21号	0.07(0.7)
		24号	
	TOTO コマンド	16号	0.07(0.7)
24号			
TOTO ハイコマンド	21号	0.07(0.7)	
	24号		

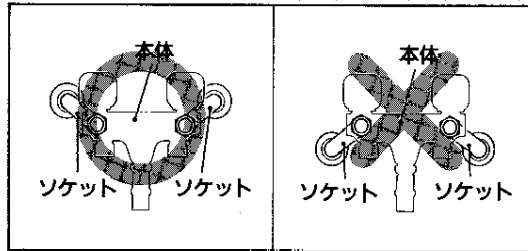
## 器具の取付け

### 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

### 2. ソケットの取付け



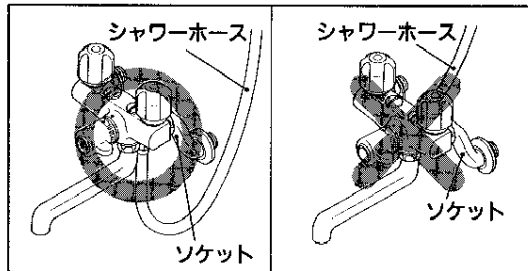


※寒冷地用の場合

器具及び配管内の水抜きができるようにソケット取付位置が必ず本体よりも上になるように施工してください。

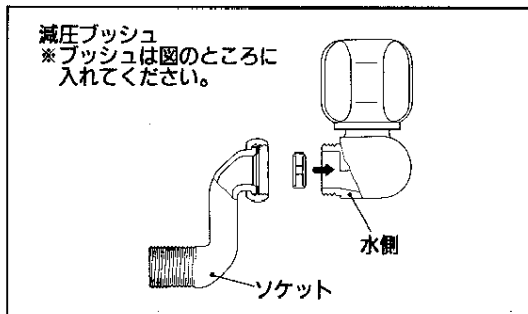
3.シャワーホースの取付け

本体をソケットに接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。シャワーホースはソケットの下から取り出してください。



4.減圧ブッシュの取付け

給水圧力が0.196MPa {2.0kgf/cm<sup>2</sup>}以上の場合は本体の給水側に同梱の減圧ブッシュをはめ込んでください。



## お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

- 普段からまめに柔らかい布でみがき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがくこと。ただし樹脂部(ハンドル・シャワーなど)に付着すると光沢を失うので、付着しないよう十分注意すること。
- クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含む洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
- 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いすること。

# 寒冷地の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作とあわせて同梱の水抜方法ラベルの要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜方法をご指導ください。

1. 切替ハンドルをカラン側に回す

2. 湯・水ハンドルを開き、水側、湯側、混合室の水抜コック3カ所を開く

3. カランから水が出なくなったら切替ハンドルをシャワー側に回す

4. シャワーヘッドを振って中の水を抜いてから床におく

# 分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障とその点検箇所		
故障	点検箇所	
水が止まらない	湯水ハンドルを閉じてても水が漏れる	湯及び水側のハンドル部を分解して"シート"及び"パッキン"のごみかみ、傷などを点検する。
	切替ハンドルを"止"にしたとき水が漏れる	切替部を分解しシャワー側、カラン側の"シート"及び"パッキン"のごみかみ、傷などを点検する
切替ハンドル部から水が漏れる	切替ハンドルをはずし、プライヤーなどで締付けナットを締め増す	

